

1. 県内感染症情報

島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8181

1) 全数報告感染症（1～5類感染症）

[]は無症状病原体保有者を再掲

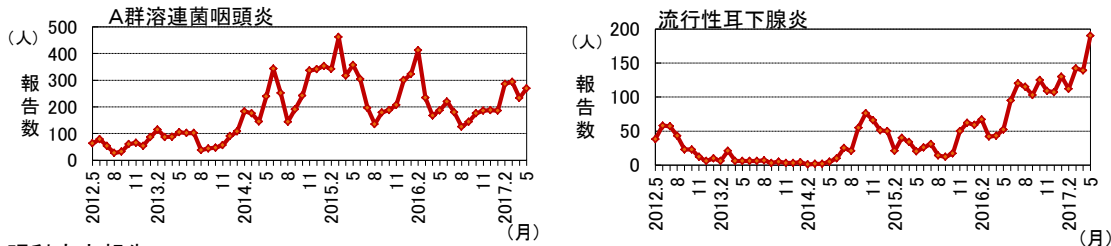
結核が8件[1](松江圏域2件[1]、出雲圏域3件、浜田圏域1件、益田圏域1件、大田圏域1件)、A型肝炎が1件(松江圏域)、つづが虫病が1件(松江圏域)、重症熱性血小板減少症候群が1件(雲南圏域)、アムール赤痢が3件(松江圏域2件、益田圏域1件)、侵襲性肺炎球菌感染症が5件(松江圏域2件、出雲圏域3件)報告されています。

* 週報報告医療機関からの報告患者数(4週換算)： 3月 2,346件 4月 1,497件 5月 1,422件

2) インフルエンザ及び小児科定点報告 ()内は月の定点当たり報告数(4週換算) []は週の定点当たり報告数

- インフルエンザ : (3.6)。県内全域の患者発生報告数は減少傾向が続いており、収束に向かっていきます。松江圏域(5.9)、浜田圏域(4.8)及び益田圏域(4.8)等、各圏域で患者発生報告があります。手洗い、咳エチケット等感染予防を心掛けましょう。
- 感染性胃腸炎 : (24.6)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいですが、松江圏域(45)で流行しています。大田圏域(26)、出雲圏域(21)及び益田圏域(20)でやや流行しているほか、各圏域で患者発生報告があります。手洗いの励行と食品の取扱いに注意しましょう。
- A群溶連菌咽頭炎 : (11.7)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいですが、松江圏域(24)では第20週[9.6]に警報レベル[8.0]を超える流行となっています。出雲圏域(14)で流行しているほか、各圏域で患者発生報告があります。合併症を来さないよう早期診断と確実な治療が重要です。
- 流行性耳下腺炎 : (8.3)。県内全域の患者報告数はやや増加しており、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、益田圏域(22)では第18週[8.0]、第19週[7.0]に警報レベル[6.0]を超える流行となっています。雲南圏域(10)では第18週から第21週まで注意報レベル[3.0]以上の流行が続いています。雲南圏域(10)で第20週[3.0]に注意報レベル[3.0]以上の流行となっているほか、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり注意が必要です。有効な予防方法は予防接種で、現在、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。
- 咽頭結膜熱 : (2.5)。大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 手足口病 : (1.5)。浜田圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 伝染性紅斑 : (1.4)。隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 水痘 : (1.2)。隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。

過去5年間の発生推移(2012年5月～2017年5月:月4週で換算)



3) 眼科定点報告

5月の急性出血性結膜炎及び流行性角結膜炎の報告はありません。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が11件、性器ヘルペスウイルス感染症が2件及び淋菌感染症が4件の患者発生報告があります。

5) 基幹病院報告

- 無菌性髄膜炎 : 2件。松江圏域1件及び出雲圏域1件の患者発生報告があります。
- マイコプラズマ肺炎 : 7件。雲南圏域5件、浜田圏域1件及び益田圏域1件の患者発生報告があります。
- 感染性胃腸炎(ロタ) : 19件。隠岐圏域10件、出雲圏域6件及び大田圏域3件の患者発生報告があります。
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 27件。地区別では西部からの報告が16件(59%)を、年代別では70歳以上が16件(59%)を占めています。

2. 病原体検出情報（2017年4月～2017年5月の検出結果）

インフルエンザは、県内全域でA香港型が主に検出されていますが、一部地域ではA2009型とB型(ビクトリア系統・山形系統)が検出されています。咽頭結膜熱からアデノウイルス1型、2型、5型、パラインフルエンザウイルス3型及びRSウイルスが検出されています。感染性胃腸炎からA群ロタウイルスやノロウイルスG I 型、G II 型、アデノウイルス1型、2型、5型及びパラインフルエンザウイルス3型などが検出されています。手足口病、熱性疾患からコクサッキーウイルスA6型が検出されています。ヘルパンギーナからコクサッキーウイルスA6型、パラインフルエンザウイルス3型が検出されています。肺・気管支炎からライノウイルス、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルス、パラインフルエンザウイルス1型、3型及びアデノウイルス1型、2型、5型が検出されています。その他、咽頭炎や扁桃炎からアデノウイルス1型、2型、5型、パラインフルエンザウイルス3型、ライノウイルス及びヒトメタニューモウイルスが検出されています。SFTS患者1名からSFTSウイルス、麻疹患者2名から麻疹ウイルスがそれぞれ検出されています。

2017年4月から2017年5月までの診断名別病原体検出数：島根県保健環境科学研究所（一部抜粋）

診断名	アデノ		キコトクA	エコー	エイエンザ				ザフパル		R	ライ	ニヒ	A群	ノ		ア	麻	S	合計					
	1	2	5	6	3	AH1	AH3	Byan	Bvic	1	3	S	イ	ユメ	ロ	G1	G2	スト	しん		F	T	S	V	
インフルエンザ						4	7	2	5																18
咽頭結膜熱	4	12	1							1	1														19
感染性胃腸炎	1	2	1								1			1	5	2	2	1							16
手足口病				4	1																				5
ヘルパンギーナ				1							1														2
麻しん(疑いを含む)																							5		5
咽頭炎	1	6	1							4			2	1											15
扁桃炎		1																							1
肺・気管支炎	1	1	1							2	2	1	6	3											17
熱性疾患				1																					1
SFTS																							2		2

島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：月集計）

島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 5月

平成29年5月1日～平成29年5月28日

区分	県		圏 域 別																	報告数推移 [※]								
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	2月	3月	4月	5月	
インフルエンザ [※] 定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	138	73	65	65	3	9	12	24	24	1	-	3	10	11	10	12	11	11	13	8	4	22	23	2844	1382	379	138	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	4	2	2	4	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	5	5	4	
咽頭結膜熱	57	32	25	37	2	14	-	1	3	-	-	21	21	8	2	1	2	-	1	-	-	-	1	43	36	38	57	
A群溶連菌咽頭炎	269	149	120	166	11	71	7	5	7	2	-	1	11	15	31	43	32	26	22	16	15	48	9	286	294	233	269	
感染性胃腸炎	565	307	258	316	13	107	52	13	59	5	11	70	143	49	61	57	37	37	18	20	8	37	17	457	371	550	565	
水痘	28	15	13	7	2	13	1	3	2	-	-	1	4	5	6	3	1	3	2	1	-	-	2	26	23	15	28	
手足口病	35	20	15	14	1	12	2	-	3	3	-	7	18	2	1	1	5	1	-	-	-	-	-	20	5	16	35	
伝染性紅斑	33	18	15	1	3	17	2	4	6	-	1	3	7	5	1	5	3	1	3	2	-	1	1	28	34	39	33	
突発性発疹	77	39	38	19	9	37	2	6	4	-	2	27	45	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	44	50	67	77	
百日咳	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	
ヘルパンギーナ	16	8	8	1	-	13	2	-	-	-	-	5	5	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	16	
流行性耳下腺炎	190	103	87	26	19	73	4	2	66	-	-	3	10	12	18	28	27	20	28	15	11	16	2	112	142	139	190	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	2	2	
マイコプラズマ肺炎	7	2	5	-	5	-	-	1	1	-	-	1	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	2	7	7	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタ)	19	10	-	-	-	6	3	-	-	10	-	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	19	

※月の週数により補正しています。

島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

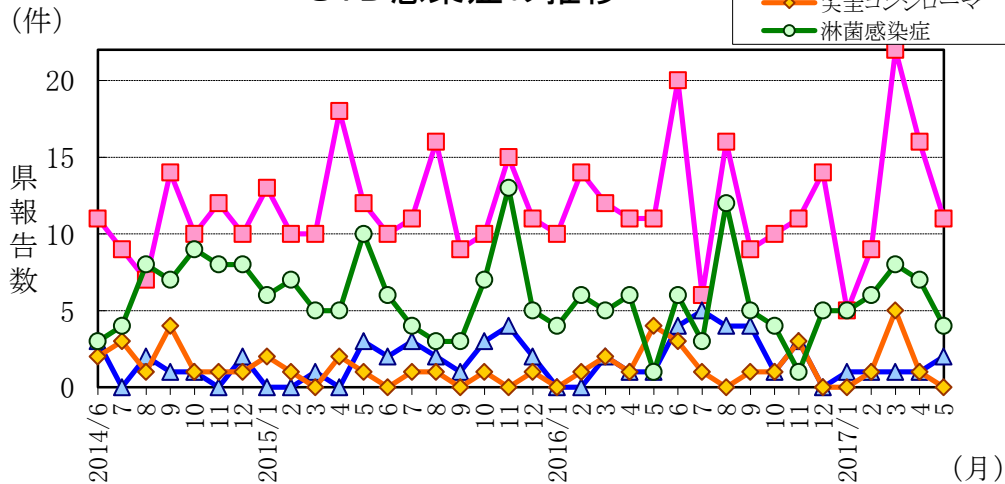
島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 5月

平成29年5月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)															
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5月	
STD定点	6			2	2	2	0									6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
性器クラミジア感染症	11	5	6	9	-	2	-	-	1	7	2	1	-	-	-	11	20	6	16	9	10	11	14	5	9	22	16	11	
性器ヘルペスウイルス感染症	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	4	5	4	4	1	3	-	1	1	1	1	2	
尖圭コンジローマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	1	-	1	1	3	-	-	1	5	1	-	
淋菌感染症	4	4	-	1	-	3	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1	6	3	12	5	4	1	5	5	6	8	7	4	
基幹病院定点	8			1	3	3	1									8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	27	18	9	2	9	16	-	3	1	-	-	2	1	4	16	24	23	24	23	32	24	23	19	19	23	23	16	27	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

STD感染症の推移



薬剤耐性菌感染症の推移

